

小坂小で田植え体験

7月4日、小坂小学校（高森康裕校長・222人）の5年生39人が総合的な学習の授業で田植え体験を行いました。今年も徳永廣敏さん（陣）の水田で植えたのはもち米の苗。徳永さんや地域の人たちの指導を受けながら、植えるたびに、児童たちは「行くぞー!!、おー!!!」と掛け声をかけ、楽しく田植えしました。緒方暁星さん（小5）は「初めて田植えをしました。苗を分ける作業が難しかったです。収穫が楽しみです」と笑顔で話しました。



1,3,4_楽しみながら田植えする児童たち
2_徳永さんに田植えを教わる児童

第68回社会を明るくする運動

7月6日、町保護司会（福味総一郎会長）が「第68回社会を明るくする運動」のメッセージ伝達を行い、同月20日には、啓発パレードを行いました。この運動は、犯罪や非行の防止、罪を犯した人の更生への理解、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な取り組みです。啓発活動の出発式で福味会長は「保護司会の活動はあまり目立つものではないが、この社会にとってなくてはならない活動。これからも希望を持って活動していきたい」と熱く語りました。



メッセージを伝達した保護司会

アウトリーチ事業で音楽の世界へ

7月10日から13日にかけて、生のクラシック演奏を間近で聴く「演奏家派遣アウトリーチ事業」で熊本県立劇場から派遣されたサクソフォンとコントラバスのアーティストが各小学校を訪問しました。11日の午後は、サクソフォン奏者の村田貴洋さんが高木小学校を訪れ、児童たちはサクソフォンの仲間たちや楽器がどうやって作られたかなどを学びました。間近で演奏を聴いた児童たちは、「サクソフォンが好きになった」「サクソフォンの音は落ち着く」と話し、楽器が奏でる音色に聴き入っていました。



生演奏が間近で大興奮!

8人目の地域おこし協力隊誕生! ちょうどいい田舎“水越”

なぜ御船町で地域おこし協力隊に?
以前は東京に住んでいました。子どもと公園まで散歩しているときに公園までが遠いこと、公園に行かないと、自然と出会わないことにずっと違和感を感じていました。子育てをするには、自然が多い田舎がいいと思ったときに、水越での地域おこし協力隊の募集を見ました。自分が今までしてきたことが活かせると思い、入隊を決意しました。

どういった活動を?
水越地域活性化協議会に所属。水越の地域づくりマイスターとして、水越地域の素材を活かした地域おこしや商品開発、販路の拡大、地域イベントなどさまざまな分野から地域おこしを行います。

どういった町にしたいか?
子育てがしやすく、住みやすい町にしたいです。水越でも、子どもがいる家庭も生活できるような土台づくりをし、生業をつくること、環境を整えることで人を呼び込めるようにしたいです。そして、水越の良さ、人の良さを全国へ発信していきたいです。



かんべ あかね
神戸 茜さん

八代市出身/現在は水越に在住/1982年生/
趣味はイベント装飾に関すること、料理/家族4人暮らし、只今子育てに奮闘中!

南木倉仮設で七夕飾り

7月2日、木倉校区社協（原田範幸会長）が仮設住宅の人たちを元気にしたいという思いから、木倉校区内の各仮設住宅で七夕飾りを行いました。南木倉仮設住宅（内藤秋弘代表）では、認定こども園みどりの里（北森光代園長・152人）の年長児28人が一緒に飾りつけを楽しみました。園児たちと飾り付けをする参加者たちは、「子どもの頃に戻ったみたい」と話し、楽しそうに手を進めました。最後は、七夕の歌をみんなが笑顔で歌い、復興への願いを込めました。



子どもたちの笑顔がみんなを元気に!

今城仮設のみんなの家で七夕祭り

7月6日、今城仮設住宅（江藤昭生代表）と今城区（藤村安治区長）の住民たちで七夕祭りを行いました。参加した人たちは、5色の短冊や巾着、折り鶴など七夕の飾り一つ一つの意味を学びながら、楽しく飾り付けを行いました。祭りでは、江藤守立さん（今城）による力強い詩吟が披露されたり、永山利行さん（今城）がこれまでの今城仮設での活動をビデオで編集したものを観賞しました。今城仮設の江藤代表は「みんなが集うことに意味がある。今年も仮設に住んでいる皆さんの安心・安全を祈りたい」と短冊に願いを込めていました。



みんなの願いが叶いますように